

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	宅幼老所整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	介護高齢課		包含する細々目	1	3	1	4	10	5	7,500
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	35 高齢者福祉の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	関連計画 条列等		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
		事業期間	14	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	65歳以上の高齢者	65歳以上の高齢者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			28000			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	住み慣れた身近な地域において、家庭的な雰囲気の中で介護や生きがいのサービスを受けることができる。	宅老所か所数	18目標	16	最終目標	19
		宅幼老所利用者数	18実績	16	19目標	17
		23目標	19	23実績		
		18目標	480	最終目標	570	
		18実績	480	19目標	510	
		23目標	570	23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	NPO法人が設置する宅幼老所と呼ばれる小規模ケア施設(通所介護、生きがいデイ)を開設するにあたり、民家等の改修に対し対象経費の4分の3以内、750万円を限度に補助金を交付する。	宅幼老所未設置の地区及び地域のニーズにより設置する場合を対象としたが、認知症デイのかけはし姫宮に補助した。	補助施設数	1
	18年度の実績			
	19年度計画	宅幼老所未設置の地区に設置する場合を対象とする。介護保険事業を行う場合は、計画等との調整を行う。	補助施設数	1

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金	5,000	5,000
	起債		
	その他		
一般財源	2,500	2,500	
事業費計(A)	7,500	7,500	
人件費	正規職員所要時間	18年度 120	19年度 120
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	429	429
	トータルコストA+B	7,929	7,929

特定財源内訳や補足事項	宅幼老所支援事業 補助率 県2/3
-------------	-------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	住み慣れた身近な地域で安心して暮らしてもらう。	要介護・要支援認定者の割合	現状値	18.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	20.3
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成14年度から単事業で開始。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅老所といわれる身近な地域で家庭的な雰囲気の中でのケアが、痴呆や介護予防に効果的であることから、全国的に広がりを見せている。</li> <li>・小規模施設でデイサービス・タイムケア・一時宿泊等の多機能サービスが求められてきている。</li> <li>・グループホームに対する事業参加希望が増えている。</li> <li>・県の補助事業名は宅幼老所支援事業に改名された。</li> </ul>	計画策定懇話会等で市民からの要望が強い。

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> <input type="text"/>	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画と整合性を取る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法		未整備地域は、民間で採算性の取れない地区であり、今後の未整備地区解消方法。

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	既存民家等の活用		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	